

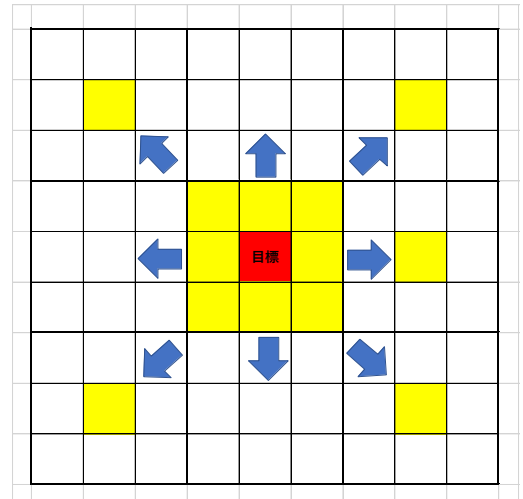
「栗東らしい健康」マンダラシートの作成について（提案）

1, マンダラシートについて

○マンダラシートとは…

多くの場合、「目標達成」の用途で使われる。マスの中心に達成したい「目標」を記入し、その目標の周辺のマス目に、設定した目標を達成するために必要な要素やアイデアを書き、埋めて行く。

効果としては、目標が達成しやすくなる、思考が整理される、思考が深まる、優先順位が見えてくる、漏れがないか確認しやすくなる、チーム内で目標が共有できるなどがある。



（インターネットより引用）

2, マンダラシートの作成について 【参考資料2】

県では、「滋賀らしい健康とは…」として、KJ法で浮かんだ考えを自由に出し合ったものを「滋賀らしい健康」として見える化されています。

「栗東らしい健康」についても、見える化することで、健康づくり推進の方向性の一助として、また、取り組みの創造に役立てたいと考えています。

作成については、以下のヒアリングの媒体としての活用も考えています。

＝作成手順＝

本提案について委員のご賛同を前提とし、

- ① 「栗東らしい健康」について思いついたものを配布します付箋に、共有できるようマジックで記載いただき、3月10日（金）を締め切りとして、事務局に送付。（返信用封筒をお渡しします。）
- ② お出しいただいた付箋をもとに、一旦、事務局でマンダラシートに整理。
- ③ 一旦整理したものを次回、令和5年度 第1回栗東市健康づくり協議会でグループディスカッションにてマスを埋める、深める。
- ④ さらに、座談会で市民の意見を聞き、反映させる。
- ⑤ 第2回協議会で委員よりご意見を聞き、完成させる。

3, ヒアリングの媒体としてのマンダラシートの活用について

座談会で、市民目線の意見を聞くとともに、「栗東らしい健康」へ向かう取り組みについてのアイデア出しにも活用する。

なお、ヒアリングについては、20～40歳の若い世代とその親世代である50～70歳に行うことを想定。